

東大和市 リアルタイム事務事業評価調書①

【 公共下水道ストックマネジメント 事業 】 記入日 令和 5 年 10 月 16 日

基本情報(A・B)

A) 施策、根拠法令等

担当部署	部	まちづくり部	課	下水道課	係	業務係	
基本施策	3 安全・安心で利便性が高いまちづくり				事業種別	市の実施義務あり(裁量あり)	
					継続・新規	継続して実施している事業	
分野別施策	施策3 - 3 都市づくり【重要施策】				事業予算額		
					115,000 千円		
展開方向	<input type="checkbox"/> メリハリのある都市空間の形成				予算科目	会計	下水道会計
	<input type="checkbox"/> 住宅都市としての魅力向上					款	1 資本的支出
	<input checked="" type="checkbox"/> 下水道機能の維持・向上					項	1 建設改良費
根拠法令等(あれば)	下水道法第3条、東大和市公共下水道ストックマネジメント基本計画、東大和市公共下水道ストックマネジメント修繕改築計画				目	2 管路改良費	
					事業番号	資本的収支予算	

B) 事業内容・対象

市の魅力向上に寄与する事業	<input type="radio"/>	人口減少抑制に寄与する事業	<input type="radio"/>
事業概要(何をやる事業か)	<ul style="list-style-type: none">下水道が使えなくなるような状況にならないよう、計画的に改築更新を実施する。改築更新については、東大和市公共下水道ストックマネジメント基本計画に基づき、100年で約175キロメートルの下水道管を調査点検を行い、緊急度に応じて工事を行う。耐用年数を迎える下水道管すべてを、単純に順番で改築更新する場合と比べ、513億円のコスト縮減となる。(適切に調査点検を行い、緊急度の高い下水道管から改築更新し、工事に係る経費を平準化する)。		
事業の対象	老朽化した下水道管(下水道管の標準耐用年数50年を経過する管路施設)		

現年度(令和5年度)に実施中の事業について(C・D・E・F)

C) 目標・目指す状態	※市民意識調査の結果を目標値にはできません(施策評価の目標であるため)。 ※「〇〇意識を高める」「理解を深める」等といった成果が測れないものは不可とします。必ず効果が数値化できる目標にしてください。		
	目標・目指す状態	単位	目標数値
①	調査、点検を行ったもののうち、現年度に工事を行う予定の下水道管の長さ	m	672
②	経営指標 管渠改善率(進捗累計)	%	0.6
③	経営指標 管渠改善率	%	0.3
D) 前年度と変更した点がありますか?	※事業の実施を経て、見直し、解決すべきだと考えたことを元に変更した点		
<input type="checkbox"/> 有	変更した点→		
<input checked="" type="checkbox"/> 無	無の理由→	ストックマネジメント修繕改築計画に基づき、計画的に工事を行うため	
E) 見直し状況	※変更(見直し)については、どの程度進んでいますか		

F) 令和5年度中の進捗状況(予定含む)	※進捗状況はなるべく時系列に沿って記入してください。		
①	8月まで	改築更新を行う管渠について起工の手続完了	
②	9月	改築更新を実施する管渠について工事請負契約を締結し、工事を実施	
③	9月中旬	国都支出金(補助金)の交付申請済み	
④	11月予定	国都支出金(補助金)の変更交付申請予定	
⑤	2月	改築更新の工事について、完了検査予定	
⑥	3月	国都支出金(補助金)の実績報告予定(収入は、翌年度の4月予定)	
⑦	令和6年5月	決算を調製するに当たり、経営指標を含めて経営分析を行う予定	

東大和市 リアルタイム事務事業評価調書②

【 公共下水道ストックマネジメント 事業 】 記入日 令和 6 年 3 月 27 日

実績報告・事業分析

A) リアタイ評価会議での意見・助言等	
①	令和5年度は0.3%の目標値となっている。予算からの目標値となっているが、今後の進捗率をどのように考えるか。
B) 上記意見を受けて、対応したもの 及び 参考としたもの	
<p>経営指標である管渠改善率（年度当たり）及び管渠改善率（進捗累計）を目標値としていたが、より進捗状況がわかりやすいように直近5年間の社会資本総合整備計画における成果目標値を管渠改善率（進捗累計）と入れ替えることとした。</p> <p>なお、「社会資本総合整備計画における成果目標値」とは、国庫補助金の活用のために国土交通省へ提出している目標値である。</p>	

C) R5年度の実績（事業の実績を示す数値 又は 事業の目標としたものの結果） ※市民意識調査の結果は不可とします。				
実績の説明	単位	目標値	R5実績値	【参考】R4実績値
① 調査、点検を行ったもののうち、現年度に工事を行う予定の下水道管の長さ	m	619.7	619.7	654.7
② 社会資本総合整備計画における成果目標値	%	60.0	50.5	27.1
③ 経営指標 管渠改善率（年度当たり）	%	0.3	0.3	0.3
数値として出せる実績が得られなかった（下記にその理由を記載してください）				
数値結果がない理由				
R5実績は去年と比べて	<input type="checkbox"/> 向上した <input type="checkbox"/> 例年通り <input type="checkbox"/> 低下した <input checked="" type="checkbox"/> その他	左記とした理由 又は 分析等（向上・低下した要因等）： 社会資本総合整備計画では、令和2年度から、年度当たり出来高20%ずつ単純に積み上がる5か年の計画であり、期間内の工事の割振りの都合上、目標値を下回っているが、令和6年度には75%、令和7年度には目標値である100%におおむね達する見通しである。		

D) 分析（令和5年度の実績を踏まえて）				↓該当する1つに○をつけてください↓			
①この事業の有効性は 費用対効果（コスパ）、執行体制の状況、手法として最適か 等	高かった	<input type="radio"/>	普通だった	<input type="radio"/>	低かった	<input type="radio"/>	
①の理由： 予防保全を中心とした計画的な修繕・改築により、下水道の機能維持、向上を図るとともに、修繕・改築に係るコストを抑制することとしている。今年度は、計画に基づき汚水管の改築更新等を行うことで、最適な手法での適切な維持管理を行うことができた。							
②この事業に対する市民のニーズ、反応は 市民の反応等を踏まえて回答してください。	高かった (良かった)	<input type="radio"/>	普通であった	<input type="radio"/>	低かった	<input type="radio"/>	
②の説明： 市民にとって安心・安全なまちづくりを着実に進めていくためには、改築更新等を進めるための財源の確保も重要である。このため、引き続き、社会情勢等を踏まえた適正な下水道料金の見直しが必要である。							
③この事業における市民協働・共創の余地は ※「市民協働」及び「共創」については別紙1をご確認ください。	多くの余地がある	<input type="radio"/>	余地がある	<input type="radio"/>	余地がない	<input type="radio"/>	
③の説明： 令和9年度以降の国庫補助金の要件として、管路管理の包括委託（ウォーターPPP）の導入が決定済みであることが必要であることから、今後、PPP/PFI等の官民連携について調査・研究を行っていく。							
④この事業が今後市の類似事業と統合・再構築できるか ※市で行っている類似の事業がある場合のみ回答	可能である	<input type="radio"/>	検討の余地がある	<input type="radio"/>	不可能である	<input type="radio"/>	
④の説明： 本事業と別事業である雨天時浸入水対策事業における「雨天時浸入地下水」への対応は、汚水管のズレや割れ等の老朽化が原因であることが想定されるため、汚水管の老朽化対策として実施している本事業と統合できる可能性があることから、東京都が創設した下水道事業強靱化補助の活用とあわせ、調査・研究を行っていく。							
⑤近隣市の類似事業と比較して充実している事業か ※近隣市に類似する事業がある場合のみ回答	他市より充実している	<input type="radio"/>	他市と同程度	<input type="radio"/>	他市の方が充実	<input type="radio"/>	
⑤の説明： 老朽化の程度や課題は、近隣市とは異なるため、比較は難しいと考える。							
⑥東大和市独自の個性を出している事業か	市の特長、個性を出せる事業である	<input type="radio"/>	他市と同程度 個性はない	<input type="radio"/>	/		
⑥の説明： 近年、AIを活用した汚水管の劣化予測を行っている自治体もあり、将来的に更なるコストの削減効果等が期待できる。当該取組の導入へのハードルは高いが、今後、調査・研究を行っていく。							

東大和市 リアルタイム事務事業評価調書③

【 公共下水道ストックマネジメント 事業 】 記入日 令和 6 年 3 月 27 日

反省・今後の方向性

A) 来年度以降の課題や見直すべき点		※事業の実施を経て、反省・見直しすべきだと思ったことを記入してください。
①	年度末に工事等が集中してしまう状況があるため、施工時期の平準化が課題である。	
②		
③		
④		
⑤		

B) 来年（令和6年度）の取組予定		※事務予定または、改善事項を記入してください。
①	令和5年度に引き続き、湖畔二丁目の西武分譲地と向原三丁目の第2光が丘住宅周辺の汚水管の改築更新工事を行う予定で、その長さは、672mを計画している。なお、社会資本総合整備計画では成果目標値を80%としている。	
②		
③		
④		
⑤		

C) 上記Bの取組にあたって必要な調整・準備事務等		※記入日時時点で必要と考えられる準備事務について記入。
①	早期着工のため、3月、4月で準備事務を始め、入札・契約手続までの事務フローの見直しに取り組む。	
②		
③		
④		
⑤		

事業コスト (6 年 3 月 27 日 時点)

予算科目	款	1	事業番号	-	予算名称	公共下水道管渠等工事費
	項	1				
	目	2				

R5予算額及び決算額 ※会計年度任用職員に係る経費（報酬等）は記入不要です。 単位：円

R5予算額		R5決算額(暫定)		【参考】R4決算額	
事業費合計	90,046,000	事業費合計	79,255,000	事業費合計	80,498,000
積算根拠		積算根拠		積算根拠	
14 工事請負費	90,046,000	14 工事請負費	79,255,000	14 工事請負費	80,498,000
財源内訳		財源内訳		財源内訳	
一般	0	一般	0	一般	0
国	25,660,000	国	17,300,000	国	13,500,000
都	2,251,000	都	1,570,000	都	1,425,000
市債	62,000,000	市債	60,000,000	市債	65,000,000
その他	135,000	その他	385,000	その他	573,000